

2023 年 8 月号

J T C C ニュース

(一社) 日本繊維技術士センター

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維 J T C C」で検索できます。

< J T C C 開催講座のご案内 >

(対面講座のコロナ対策: 募集人員の制限、体温が 37.5℃以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒を実施)

●令和 5 年度の技術士試験一次、二次試験の日程及び会場

項目	技術士一次試験	技術士二次試験
受験資格	制限なし	令和 5 年度の試験は予定通り実施されました。
受験申込書の配布	令和 5 年 6 月 9~28 日	
受験申込書の受付(写真要)	令和 5 年 6 月 14 日~28 日	
試験日	令和 5 年 11 月 26 日(日)	令和 5 年 7 月 17 日(月・祝) 終了
筆記合格発表	令和 6 年 2 月	令和 5 年 10 月
口頭試験	なし	令和 5 年 12 月
技術士資格合格連絡	文部科学省官報にて受験版番号告示	
試験会場	北海道、宮城県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県及び沖縄県	

◆2023 年度 新入社員のための「分かりやすい繊維基礎講座」のご案内

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本講座は、令和5年に繊維関係の会社に就職された新入社員の方々や、初めて繊維関係のお仕事をされる方々、および繊維に関する基礎的で実用的な知識を学ばれたいの方々のための「分かりやすい繊維基礎講座」です。

1. 講座の趣旨

対面講座については大阪市内あるいは近郊の繊維関係会社(繊維メーカー、アパレル製造・販売会社、衣料量販店、百貨店、商社、繊維団地など)の社員の方々を対象に、平日の夕方、会社業務がほぼ終わりになる時間より開催します。対面講座の会場は、地下鉄御堂筋線:本町駅に近い、輸出繊維会館 6 階の日本繊維技術士センター(JTCC)大阪事務所です。

また、**同時に講義内容をオンライン配信いたします。**

2. 講座の主な内容

講義は JTCC(日本繊維技術士センター)所属の技術士が担当し、画像や現物サンプルなどを用い、目・耳・手を駆使して繊維を理解して頂くよう、カリキュラムを工夫しています。

またオンライン配信ではその様子をご覧になって頂きます。

詳細内容および申し込みは JTCC ホームページをご覧ください。

◆「知っておきたいアパレル製品の基礎知識」講座

1. 日程と時間 (Aコース、Bコースは同内容です)

Aコース 2023年10月14日(土)、21日(土)、28日(土) 何れも 10時～17時

Bコース 2023年10月17日(火)、24日(火)、31日(火) 何れも 10時～17時

2. 会場

オンライン方式で開催(Microsoft Teams を使用)

3. 講座スケジュールと内容

日程	テーマ	時刻	時間(分)
1日目 10月14日(土) 再配信 10月17日(火)	挨拶	10時～	5
	I. アパレル用繊維の種類と特徴	10時5分～	85
	II. 糸の特性、アパレル用生地(織物・編物)の種類と製造方法	11時30分～	80
	休憩(上記講義の途中)		60
	IV. 芯地、裏地、副資材、ラベルの種類と特徴	14時～	50
	III. 繊維の染色と仕上加工	15時～	120
2日目 10月21日(土) 再配信 10月24日(火)	V. 繊維の試験方法(物性、染色堅ろう度、安全性、機能性)	10時～	120
	休憩	12時～	60
	VI. アパレル製品の企画・設計	13時～	50
	VII. アパレル製品の縫製準備(検反、裁断、芯貼り)	14時～	80
	VIII. アパレル製品の縫製(縫製、接着、設備)	15時30分～	90
3日目 10月28日(土) 再配信 10月31日(火)	IX. アパレル製品の検査・検針要領	10時～	50
	X. アパレル製品の表示・法令(家表法、景表法、薬機法など)	11時	90
	休憩(上記の講義途中)	～13時20分	60
	XI. アパレル製品の事故事例	—	—
	1. 染色堅ろう度(変退色と汚染)	13時30分～	50
	2. 生地の物性(破損)	14時20分～	50
	3. 生地の物性(収縮、ピリング)	15時10分～	50
	4. 縫製不良(地糸切れ、シームパッカリング)	16時10分～	50

4. 受講料(消費税込み): 30,000円 定員:100名

5. 申込方法:JTCCホームページ <https://jtcc.or.jp/> から申込み、または、添付しています「受講申込書」に記入し、JTCC本部あてFAXあるいはE-mailでお申し込み下さい。

FAX:06-6484-6575 あるいは E-mail jtcc-ed-apa@mbr.nifty.com(アパレル講座専用メール)

申し込み期間:2023年9月1日(金)～10月6日(金)

◆JTCC「公開講演会」

「先端繊維技術セミナー」の開催

□第1回先端繊維技術セミナー

教育活動委員会では、新たに技術情報発信部会を発足させ「先端繊維技術セミナー」を開催します。

本セミナーでは、JTCC 会員及び関係者の研鑽・技術情報収集・交換などにより、会員相互の資質向上に寄与して参ります。ご参加をお待ちしています。

日 時:2023 年 10 月 21 日(土)13:30～16:30 開催方式:オンライン

[演題 1]「ナノファイバーテクノロジー最近の動向」

> 講師:東京工業大学名誉教授 谷岡明彦氏

> [演題 2]「京都プロセスにより製造された CNF 強化プラスチックの開発と用途展開」

> 講師:京都市産業技術研究所 仙波健氏

> ※詳細および申し込み方法は JTCC ホームページに掲載しています。

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省(生活製品課)

「繊維製品における資源環境システム検討会」が設置され検討を行っています。

本検討会の開催趣旨 繊維製品分野に関しては、特に欧州において、環境配慮対応や人権デュー・ディリジェンスなどのサステナビリティに係る取組が急速に進展している。

2022 年 3 月には、欧州委員会が、2030 年までにリサイクル繊維を大幅に活用すること等を目標とする「持続可能な循環型繊維戦略」を公表している。こうしたグローバルな動向を踏まえ、我が国の繊維関連企業が、今後需要拡大が見込まれる海外市場においても競争力を維持・確保していくためには、繊維製品の資源循環システムの課題を整理し、必要な施策を講じていくことが重要。繊維製品の資源循環システムを確立するためには、大きく「回収」「分別・再生」「製造」「販売」の 4 つのフェーズで異なる課題が存在しており、それらを並行的に解決していくことが不可欠である。

本検討会では、こうした状況を踏まえ、国内における衣料品の回収方法、回収した衣料品の分別と繊維から繊維へのリサイクル・再生技術、製造時の環境配慮設計、販売時における消費者への理解促進等について議論し、課題解決の方向性を整理する。

「繊維製品における資源環境システム検討会」が 6 回開催され、その内容が発表されています。

＜第一回＞ 2023 年 1 月 20 日

- ・繊維製品の資源環境システムをめぐる現状と課題(事務局)
- ・サステナブルファッションの推進に係わる取り組み(消費者庁)
- ・繊維製品の資源循環システムの構築に向けた技術開発について(NEDO)
- ・繊維 TO 繊維リサイクルの課題(帝人フロンティア(株))
- ・廃棄衣料を新たな資源にするアップサイクル L&PLUS の取り組み(倉敷紡績(株))

＜第二回＞ 2023 年 2 月 28 日

- ・ファッションと環境(環境省)
- ・衣料品リサイクルの現状と課題～サステナビリティとエコソフティ～(ナカノ(株))
- ・衣料品環境の実現に向けた取り組み～オンワード・グリーン・キャンペーン～((株)オンワード樫山)

＜第三回＞ 2023 年 3 月 14 日

- ・使用済み衣料品改修・循環システムの構築と市民への普及啓発～京都市の実践～(京都市)
- ・企業ユニホームリサイクルにおける可能性((一社)日本ユニホーム協議会)
- ・服から服へ～廃棄量削減に向けた循環型制服の取り組み(日本毛織(株))
- ・リサイクル繊維の表示方法の検討状況(化学繊維協会)
- ・2030 年を意識した消費者意識へのアプローチ(鎌田委員)

＜第四回＞ 2023 年 3 月 28 日

- ・我が国の繊維リサイクルにおける現状と課題(経済産業省)
- ・EPR for textiles and footwear, the French experience (Refashion)
- ・TEXTILES ECOSYSTEM (EU)
- ・循環型ファッションへの取り組み(H&M)
- ・リサイクル製品のメッセージ発信の取り組み事例(経済産業省)

＜第五回＞ 2023 年 5 月 29 日

- ・ファッションと環境 令和 4 年度調査報告 衣類改修と再利用の実態を中心として(環境省)
- ・天然繊維における環境配慮等について(経済産業省)
- ・天然繊維の資源循環 ウールリサイクルについて(大津毛織(株))
- ・綿リサイクルへの取り組みについて(日本紡績協会)
- ・羊毛産業のサステナビリティと循環性ーザ・ウールマーク・カンパニーの取り組み(THE Woolmark Company)

＜第六回＞ 2023 年 7 月 18 日

- ・無水・CO₂ 無排出染色加工技術の開発(サステナテック(株))
- ・スマートテキスタイル開発の現状((国研)産業技術総合研究所)
- ・衣料品以外の繊維製品の資源循環について(経済産業省)

- ・TOL完全循環型リサイクルシステムについて(東リ(株))
 - ・ニトリグループの資源循環への挑戦((株)ニトリホールディングス)
 - ・寝具における資源循環の取り組み((一社)日本寝具寝装品協会)
- 8月中旬に以上の内容の「まとめ」が経済産業省より掲示される予定です。

2. 環境省

・新着情報なし

企業広告

(一社) 繊維学会

2023年度 第52回繊維学会 夏季セミナー

—未来志向かつ持続可能な 繊維業界の構築に向けて—

2023年9月7日(木) ~8日(金)
 会場：みんなの森ぎふメディアコスモス (対面開催)
 主催：一般社団法人 繊維学会



特別講演
 「長寿の生物学と社会実装への挑戦」
 理化学研究所 伊藤 孝

総合講演
 「サステナブルな繊維学会を目指して
 (一企業の経緯を踏まえて) (仮)」
 東洋紡株式会社 大田 康雄

他、6つの分科会セッションおよび研究開発ピッチ発表

参加登録は **8月25日 金** まで!!

2023年 繊維学会秋季研究発表会

2023年11月27日(月) ~28日(火)
 会場：京都テルサ (対面開催)
 主催：一般社団法人 繊維学会



- **発表・参加申し込み受付中!!**
- 若手産官学交流セッションや高校生セッションも開催!!
- 第59回 染色化学討論会も同時開催!!

みなさま奮ってご参加ください!!

3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

- 日本化学繊維協会（詳細は化繊協会のホームページ参照してください）

- ・新情報なし

- 日本綿業振興会（詳細はホームページ参照）

- ・新情報なし

- 日本染色協会（詳細はホームページ参照）

- ・新情報なし

4. (一社)日本衣料管理協会、(一社)繊維評価技術協議会(繊維技協)

- (一社)日本衣料管理協会

- ・新情報なし

- (一社)繊維評価技術協議会(繊維技協)

- ・新情報なし

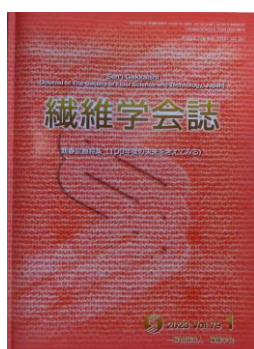
- 関西ファッション連合

- ・新情報なし

Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆＜繊維学会誌＞ 2023 年 7 月号



＜特集＞ グリーンコンポジット

○ ラミー繊維/セルロースアセテート樹脂グリーンコンポジットの高強度化

信州大学 施 建、孫 燁、鮑 力民

1. はじめに

天然繊維強化プラスチックの開発が進められている。ラミー繊維とセルロースアセテートを用いて自然環境下で分解できるグリーンコンポジットを紹介する。

2. 天然繊維強化プラスチックの概要

3. 天然繊維強化プラスチックの機械的特性に及ぼす影響要素

4. おわりに

天然繊維は、前処理や成形方法で実用可能レベルの高強度化ができる。

○ 植物繊維の内部構造を活かした機能性グリーンコンポジットの開発

徳島大学 高木 均

1. はじめに

植物繊維を用いた樹脂系複合材料全般を広義のグリーンコンポジットとして扱う。

2. 機能発現の源としての植物繊維

3. グリーンコンポジットの断熱性

4. おわりに

○ 植物繊維を利用した一方向強化グリーンコンポジットの疲労特性評価 ―グリーンコンポジットの将来性―

実践女子大学 加藤木 秀章

1. はじめに

構造材料としてグリーンコンポジットの耐久性である疲労特性に関する知見を説明する。

2. 天然繊維の強度特性および疲労特性

3. 一方向天然繊維撚糸強化グリーンコンポジットの疲労特性

4. 一方向に揃えたスライバー強化グリーンコンポジットの強度及疲労特性

5. まとめ

○ セルロースナノファイバー強化シルク繊維の創製と力学・物理特性評価

東北大学 栗田大樹、王 真金、堀 雅敏、成田史生 Insect Resources Technology(株) 清水紀弘
(株)ナフィアス 渡邊 圭

1. はじめに

市販されている人工飼料にセルロースナノファイバー(CNF)混合し、蚕に食べさせられるセルロースナノファイバー強化シルク繊維の力学・物理特性の説明

2. CNF混合人工飼料による蚕の飼育とシルク繊維の創製

3. CNFを塗布した桑葉による蚕の飼育と蚕糸の創製

4. 観察と特性評価

5. 引張特性に及ぼすCNFの影響

6. おわりに

○ 長繊維セルロース強化樹脂の開発

ポリプラスチックス(株) 板倉雅彦

1. はじめに

セルロースを樹脂補強材として使用し、優れた機械物性を有するグリーンコンポジットを開発した。

2. 樹脂強化材としての再生セルロース

3. 長繊維強化樹脂について

4. 長繊維セルロース強化PP樹脂の開発

5. 長繊維セルロース強化樹脂の今後の展開

6. おわりに

◆＜繊維製品消費科学会誌＞ 2023 年6月号



【解説】シリーズ「繊維産業における SX の取り組み」

○衣料製品や繊維素材の再使用・リサイクルについて

京都高度技術研究所 酒井伸一

1. はじめに

衣料製品の環境資源負荷の概要。衣料製品や繊維素材の再使用やリサイクルを中心にライフサイクルアセスメントについて解説

2. 衣料製品や繊維素材の生産・使用・廃棄と環境負荷の概要

3. 衣料製品や繊維素材のライフサイクルと温室効果ガスに関する LCA 研究

4. 日本と欧州のサステナブルファッションへの取り組み

5. おわりに

再生可能、発生抑制・ゲンリョウ、再使用、再生利用、回収、処理処分について解説

○老舗百貨店が進める社内ベンチャー型ビジネスモデル変革

(株)大丸松坂屋百貨店 田端竜也

○繊維製品上の花粉やダニ由来タンパク質等の減少測定方法について

(一財)日本繊維製品品質技術士センター 中島絵里

日常生活における課題に「花粉由来の蛋白質」「ダニ由来の蛋白質」がある。これらの蛋白質を測定する方法を(一社)繊維評価技術協議会と(一財)日本繊維製品品質技術センターが共同研究を行い、2022年7月にISO4333「繊維製品上の花粉やダニ由来タンパク質等の測定方法」が制定された。その内容の解説

○透湿機能を持つ医療従事者用 X 線防護服の温熱的着用性能

京都女子大学 熊田亜矢子、坂下理穂、諸岡晴美 (株)アドエッグ 河原伸雅

緒言:医療従事者用 X 線防護服の温熱的着用性能を13名の被験者のデータを報告している。

評価項目は、衣服内の温湿度、人体生理量(皮膚温、発汗量、耳内温、心電図、着用感評価など)

◆＜繊維機械学会誌＞ 「月刊せんい」 2023 年6月号



○医療用材料としてのシルク

(国研法人) 神戸裕介

1. はじめに

医療用として臨床利用されているシルクと再生医療用の細胞足場材料としてのシルクを紹介している。

2. 医療用器具としてのシルク製品

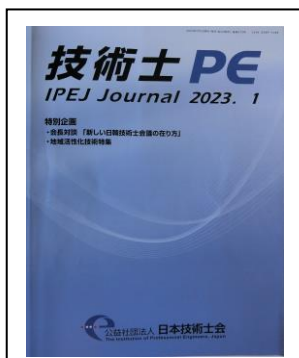
3. 著者らの取り組み:再生医療用の細胞足場材料としてのシルクとその機能化

4. おわりに

○不織布を応用したスキルレス毛髪巻き上げ道具(NUWAVE)

花王(株) 木部義幸、東城武彦

◆＜日本技術士会誌＞ 「技術士 PE」 2023 年5月号



○対話型 AI を構成する技術とそのビジネスへの応用 情報工学部門 橋口正樹

○モノづくりの倫理 経営工学 吉田建彦

「技術士 PE」 2023 年6月号

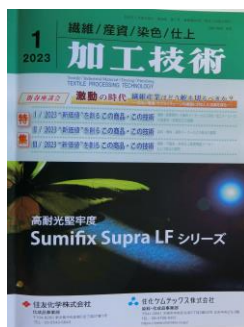
○カーボンニュートラルへの新たな対応方法のすすめ

情報工学・環境部門 武田彰夫

○技術士倫理綱領の改訂について

倫理委員会

◆＜加工技術＞ 2023 年6月号



＜JTCC 新市場創造講座＞

○テキスタイル新商品開発の着眼点と事例(1)

JTCC 佐藤忠義

3. 国内繊維の状況

4. 海外テキスタイル生産基地

5. 人材面の課題と対応

○セルロースナノファイバーに対する各種染料の染色挙動

(地独)京都産業技術研究所 井内俊文

1. セルロースナノファイバーの染色

2. 化学染料による CNF の染色

3. 天然染料による CNF の染色

○ISO/JIS 化を視野に標準化事業を拡大

(一社)繊維評価技術協議会

サステナブルに「対応した」繊維産業における繊維製品の環境配慮設計に関する標準化調査」事業を開始

○躍進するインクジェットプリント 5

Advanced Consulting partners 伊藤高廣

・水の不思議

・インクの注意事項

・アナログ捺染糊

・デジタル前処理

・安全性

＜時空繊維＞

20 国産ピアニスト第1号 —久野 久—

JTCC 八木健吉

・ピアノと繊維

・久野 久のこと

・誕生の地 —膳所の町—

・邦楽の師範から洋楽へ転向

・成功と暗転

・黎明期の日本人音楽家の苦悩

・久野 久に捧ぐリサイタルを開いた後進ピアニスト

・故郷大津での足跡

・久野 久を伝える

◆＜不織布情報＞ 2023 年6月号

【用途特集1】衛生材料(医療・介護)

○医療用マスク・一般マスク・感染対策

医療用マスクの JIS 規格制定について

(一社)日本衛生材料工業連合会 全国マスク工業会 高橋紳哉

○若手看護婦に聞く医療現場と介護

若手従事のための医療業界の更なる環境整備を

清恵会三宝病院 岡部莉奈

◆＜新聞、他＞

織研新聞

○2023年5月 の衣料品の輸入（数量:百万点、金額:億円、シェア:%、下段:前年同期比）

順位	国	ニット衣料		布帛衣料		合計			
		数量	金額	数量	金額	数量	シェア	金額	シェア
1	中国	524	2800	329	2,750	853	57.3	5,550	49.5
		▲6.3	▲1.1	9.3	6.0				
2	ベトナム	152	957	65	912	216	14.5	1,869	16.7
		11.6	25.0	11.0	23.1				
3	バングラデシュ	94	377	30	322	124	8.3	699	6.2
		▲5.3	3.8	▲18.9	▲1.0				
4	カンボジア	52	257	29	333	81	5.4	590	5.3
		▲12.4	7.2	▲4.5	5.7				
5	ミャンマー	40	180	44	483	84	5.6	663	5.9
		15.5	23.4	32.0	45.8				
6	インドネシア	21	162	19	249	41	2.8	411	3.7
		▲7.5	9.5	9.0	31.2				
7	イタリア	1	157	1	250	2	0.1	427	3.8
		6.8	36.4	12.3	42.2				
	全世界	940	5,385	548	5,829	1,488	100	11,214	100
		▲3.3	7.0	8.4	14.1				

出所:日本貿易統計

業界待望のバイブル!!

次代につなぐSDGs
持続可能な染色加工をめざして

日本を代表する繊維技術士16名による実践のノウハウ書

最新刊

テキスタイル実務者 必携

実践の染色読本

●企画：日本染色加工同業会80周年記念事業

●編著：一般社団法人 日本繊維技術士センター
(JTCC)

●発行：株式会社 ファイバー・ジャパン
<https://www.fiberjapan.co.jp>

●体裁：B5判 350ページ

●定価：本体 10,000円 + 税/送料 550円別

詳細はこちらから



6月12日 発刊!!

「発刊にあたって」より (抜粋)

本書の内容は今までにない充実したものと自負。
初心者を対象というよりむしろ染色の実務経験のある方にぜひ読んでいただきたい。(JTCC 嶋田氏)

「発刊のご挨拶」より (抜粋)

当同業会の80周年記念事業として、「実践の染色読本」を発刊することになりました。現存する染色加工に関するノウハウ書はありません。今回の企画により染色加工技術分野唯一のノウハウ書が誕生することになり、次代の染色加工技術の持続可能な礎になると確信しています。

執筆と監修は日本繊維技術士センター技術支援委員会に協力いただきました。染色加工技術分野は多岐に渡っていますが、詳細に執筆いただき充実した内容になりました。

テキスタイル関連に携わる実務者は、海外を拠点に活動しており、このノウハウ書「実践の染色読本」を必携書として有効に活用されることを切望します。

日本染色加工同業会

理事長 伊藤 博
代表幹事 今田 邦彦

「発刊に寄せて」より (抜粋)

日本染色協会は、当業界の将来に向けての課題解決案として、①「SDGs」への取り組み、②新商品開発等への新たな取り組みを掲げております。これらの課題達成に向けて、今回、日本染色加工同業会の80周年記念事業として企画され、長年、染色加工に従事され蓄積された技術の粋を集結された本書は、今後、当業界の染色技術者育成の基礎となり、染色の現場で発生している不具合の種々の課題解決に寄与するものと確信しております。

一般社団法人 日本染色協会

会長 後藤 勝則

執筆者一覧 (五十音順・敬称略)

- | | |
|--------|---|
| 秋丸 光嗣 | (一社) 日本繊維技術士センター 協会員、元・和歌山染工機 |
| 有瀧 宗重 | (一社) 日本繊維技術士センター 執行役員、元・東洋紡機、元・大同マルタ染工機 |
| 今田 邦彦 | (一社) 日本繊維技術士センター 顧問、元・住友化学機 |
| 上本 雅則 | (一社) 日本繊維技術士センター 正会員、元・東レコーテックス機 |
| 越智 清一 | (一社) 日本繊維技術士センター 客員、元・東洋紡機、元・(一社) 繊維評価技術協議会 |
| 大島 直久 | (一社) 日本染色協会 理事 大阪事務所長 兼 技術部長、元・東海染工機 |
| 金崎 英夫 | (一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・日華化学機 |
| 嶋田 幸二郎 | (一社) 日本繊維技術士センター 理事長、元・帝人機、尾張整染機 |
| 寺崎 正淳 | 機日阪製作所 プロセスエンジニアリング事業本部 |
| 西村 元廣 | (一社) 日本繊維技術士センター 協会員、元・ユニチカ機 |
| 橋田 佳雅 | (一社) 日本繊維技術士センター 評議員、モリリン機 |
| 橋本 嘉顯 | (一社) 日本繊維技術士センター 理事、元・東洋紡機 |
| 馬場 武一郎 | (一社) 日本繊維技術士センター 正会員、日本毛織機 衣料繊維事業本部 |
| 松田 芳樹 | (一社) 日本繊維技術士センター 協会員、元・DIC 機 |
| 水裏 満 | (一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・備ミツヤ |
| 森本 國宏 | (一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・(一社) 日本染色協会 |

※査読協力：嶋田 幸二郎、橋本 嘉顯、八木 健吉

●お申し込みは — E-mail/HPで!!

E-mail: info@fiberjapan.co.jp
<https://www.fiberjapan.co.jp>

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、jtccnews@mbr.nifty.com に投稿してください。(掲載料金は無料です。)

賛助法人・団体会員様の声(技術的な問題, JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先:jtccnews@mbr.nifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、jtccnews@mbr.nifty.com です。

編集:一般社団法人 日本繊維技術士センター 広報委員会 JTCC ニュース担当 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469